

豊岡市の降水量の過去約100年の推移(1918年から) 含む降水日数、強雨の日数の推移

元データは気象庁ホームページ

上段のグラフは豊岡市の夏季6月から9月の降水量合計の推移図、中段のグラフは冬季11月から2月の降水量合計の推移(ただし1918年11月12月1919年1月2月を1919年として以降も続く)、下段のグラフは年降水量の推移

夏季の雨量はあまり増加の傾向は見られない。冬季の降水量もあまり増加の傾向は見られない。年降水量も増加の傾向は見られない。年ごとの偏差が大きくなる傾向も見られない。気温は明確な上昇傾向があり、湿度は明確な下降傾向があるが、降水量は変化なし。

ここ豊岡だけの現象なのか、もう少し調べる必要はある。

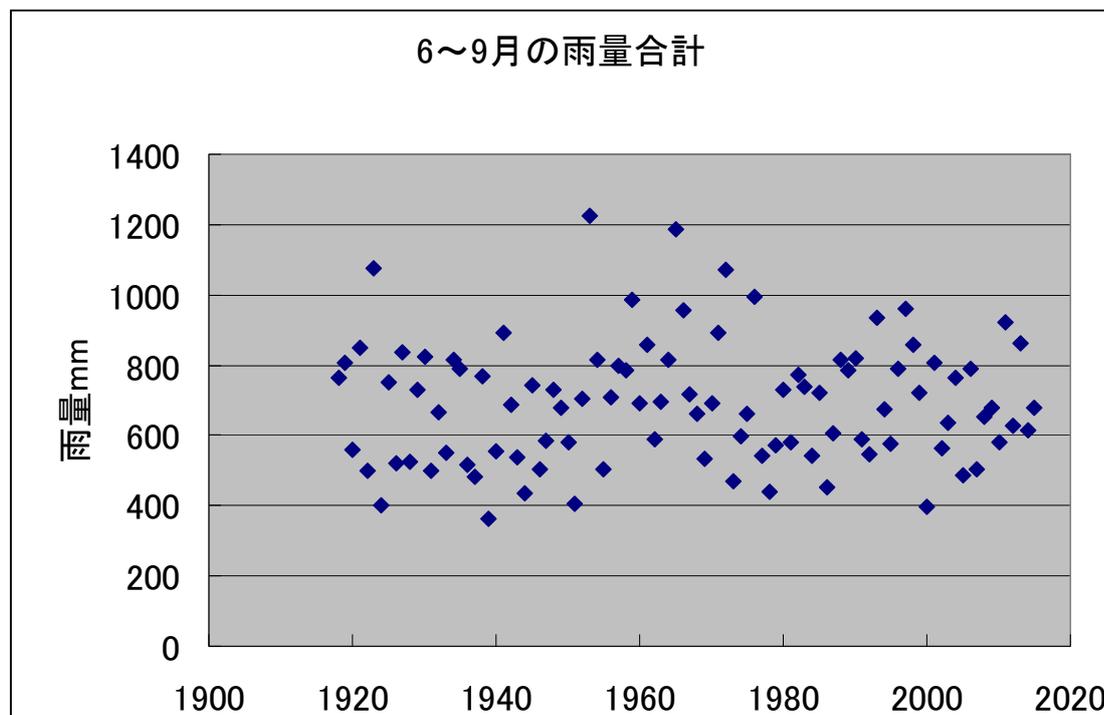
ただ、降水量は海からの水蒸気量に依存し、水蒸気の発生は太陽熱による。太陽熱の変化は殆どないので、水蒸気の供給量に変化がないと考えられる。よって雨量の合計に変化なしとなる。気温上昇により、一度に降る雨量が増えれば雨の降らない日数が増えその結果平均湿度は下がるのか。では、雨日数の変化はどうか。

資料4 豊岡の1日降水量1 mm以上の日数の推移をみると、減少傾向にある。

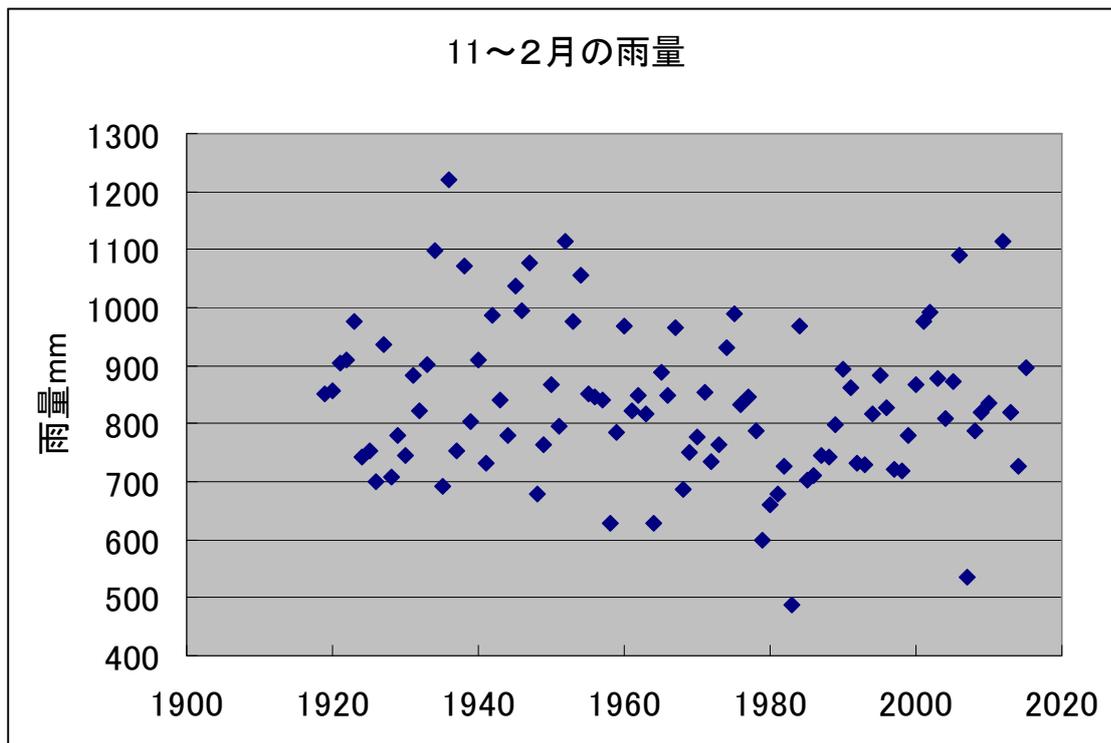
資料5 豊岡の1日降水量50 mm以上の日数はやや増加の傾向がある。

どうやら、雨はまとめて降る傾向が強くなった。

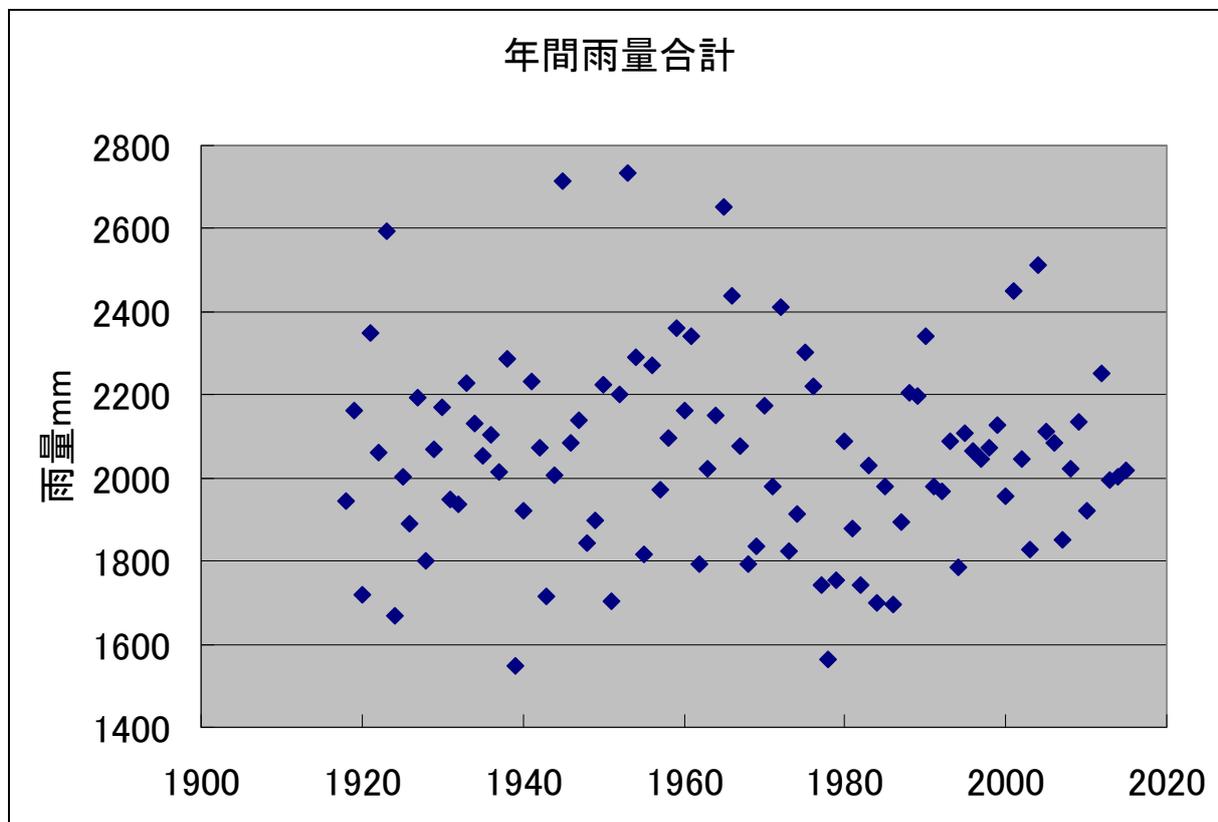
資料1 豊岡の1918年からの6月から9月までの雨量合計の推移



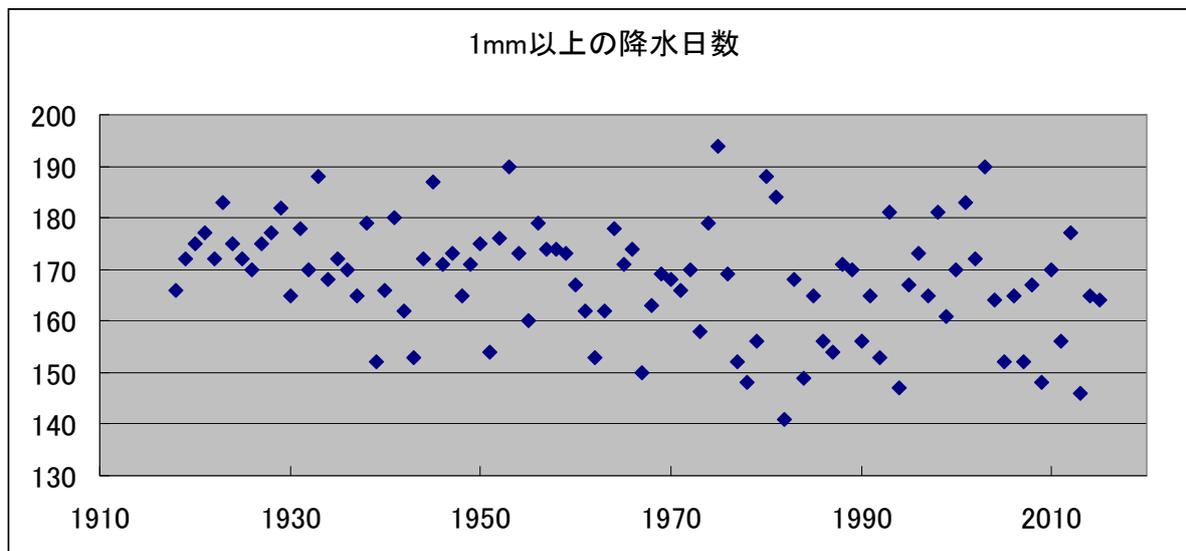
資料2 豊岡の11月から2月の降水量の合計の推移（1918年～）ただし、ひと冬で1つのデータとする。



資料3 豊岡の年間降水量合計の推移（1918年～）



資料4 豊岡の1日降水量1 mm以上の日数の推移（1918年～）



資料5 豊岡の1日50 mm以上の降水の日数の推移

